

令和4年12月6日
政策統括官付

「10年後の歩行って？ アイデアコンテスト」の受賞作品決定！

バリアフリー・ナビプロジェクト（ICT を活用した歩行者移動支援）推進の一環として実施した「10年後の歩行って？ アイデアコンテスト」について、439点の応募があり、審査の結果、7点を事務次官賞（優秀賞・特別賞）として決定し、11月29日に表彰を行いました。

○「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」（委員長：坂村健東洋大学情報連携学部 INIAD 学部長）にて審査を行い、各部門の優れた作品を「優秀賞」として選出しました。

○また、委員長の提案により、未来を担う子供たちの作品の中から、特に歩行者移動支援との親和性や独創性の高い作品を「特別賞」として選出しました。

＜優秀賞＞

・ネーミング部門

「スマイル歩行ナビ」^{すずき ゆいこ} 鈴木 結子

・ビジュアル部門

「あるこっく」^{よねだ たかふみ} 米田 貴文

・アイデア部門バリアフリーの部

「PLAFETY ～安全な未来広がる歩行空間デジタルツイン」 Onion Ring

「危険地点投票システム」 金沢工業大学 心理科学科 6 班

・アイデア部門イノベーションの部

「光活用型交通サイン計画」 佐賀大学 理工学研究科 理工学専攻

＜特別賞＞

「らくらくおたすけロボット!」^{しのざわ はな} 篠澤 花奈「アニメの世界に入れちゃう!アニメウォークメガネ」^{やの かずま} 矢野 和直

各受賞作品の詳細を知りたい方は、別紙1, 2及び以下サイトでご確認ください。

(サイト URL: <https://www.barrierfreenavi.go.jp/news/2233455.html>)

＜問合せ先＞

国土交通省 政策統括官付 福島、松尾

TEL: (代表) 03-5253-8111(内線 53103、53115)

(直通) 03-5253-8794

FAX: 03-5253-1675

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

10年後の歩行って？アイデアコンテスト概要

1. 作品の募集

- ・募集期間： 令和3年 12 月 21 日～令和4年7月 31 日
- ・部 門：
 - ① ネーミング&ビジュアル部門： 10 年後、20 年後の歩行をよりよいものにしていく本活動の愛称(ネーミング)とデザイン(マーク)を募集。ビジュアル案は、イメージアイコンのデザインやイメージキャラクターなども含む。
 - ② アイデア部門： 我々の暮らす社会における「10 年後、20 年後の歩行」のあるべきかたちを考え、それを実現するためにあるとよい「もの」や「しくみ」などのアイデアを募集。

2. 審 査

- ・「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進委員会」にて審査を実施。

＜委員＞(別添参照)

坂村 健 東洋大学情報連携学部 INIAD 学部長
竹中 ナミ 社会福祉法人 プロップ・ステーション 理事長
田中 淳 東京大学大学院情報学環 特任教授
古屋 秀樹 東洋大学国際観光学部 教授
森 亮二 弁護士、国立情報学研究所 客員教授
ほか国土交通省関係部局

3. 応募状況

合計 439 件(アイデア部門 190 件、ネーミング&デザイン部門 249 件)

4. 表彰式

- ・日 時： 令和4年 11 月 29 日 16:00～17:00
- ・会 場： 中央合同庁舎第3号館8階特別会議室(千代田区霞が関2-1-3)
- ・主要内容： 賞状授与、各受賞者からプレゼンテーション、講評



受賞作品

【ネーミング部門 優秀賞：1点】

- ・作品名：「スマイル歩行ナビ」
- ・応募者：鈴木 結子 すずき ゆいこ
- ・応募内容の紹介：
老若男女によりよい歩行空間を案内できるようお願いを込めて命名しました。

【ビジュアル部門 優秀賞：1点】

- ・作品名：「あるこっく」
- ・応募者：米田 貴文 よねだ たかふみ
- ・応募内容の紹介：
「あるこっく」という、シンボルキャラクターを考えました。近未来のロボットのようなイメージとカラフルな人それぞれの歩き方や多様性、鮮やかな羽を持つ孔雀をモチーフとしています。



【アイデア部門バリアフリーの部 優秀賞：2点】

- ・作品名：「PLAFETY～安全な未来広がる歩行空間デジタルツイン～」
- ・応募者：Onion Ring やの かいゆう まえずみ たくと うわがわあいら
(矢野海悠、前住拓斗、宇和川愛里、
くにかたけんや 国方健也)
- ・応募内容の紹介：

現在、視覚障害者は段差や大きな障害物を白杖で察知しながら歩いています。しかし、小さな段差や障害物に気づかず転倒し事故につながる等、街中には多くの危険が潜んでいます。

このような問題を解決するために、私たちはスマートフォンで計測した歩行空間や危険な場所をみんなで共有することで、視覚障害者が安心して歩ける歩行空間デジタルツインを提案します。

■背景と課題
現在、視覚障害者と呼ばれる人々は少なくありません。特に、高齢化に伴う視力の低下、中途失明者が増えています。視覚障害者は、白杖を使って段差や障害物等の周囲の状況を把握します。しかし、小さな段差や障害物等は把握しきれず、置いて転倒し、事故につながる等、街中には多くの危険が潜んでいます。こうした危険を視覚障害者は、各々の経験から気をつけながら歩いています。しかし、初めての場所では、危険な場所等を把握できていないため、非常に不安になりながら歩く必要があります。

■歩行空間デジタルツインの提案
近年のレーザ計測技術の発展は目覚ましく、スマートフォンにもレーザが搭載されており、簡単に周辺の3次元形状が把握できるようになっています。そこで、私たちは、スマートフォンで歩行空間を計測した3次元データや、そこから抽出した危険箇所をサーバ上にアップロードし、視覚障害者全員で共有し活用する歩行空間デジタルツイン構想を提案します。歩行空間デジタルツインでは、視覚障害者用の道案内アプリをベースとして、「①周辺状況の把握」と「②危険箇所の共有」、「③危険箇所を考慮した道案内」を行います。

【①周辺状況の把握】
一計測した3次元データから読みやすい小さい段差や障害物等の危険箇所を検出し、注意を促します。また、周囲の点字ブロックを検出し、ブロック上に視覚障害者を案内できます。

【②危険箇所の共有】
一①で計測した3次元データや危険箇所、点字ブロックの位置をサーバ上にアップロードすることで、視覚障害者全員でそれらの情報を共有できます。

【③危険箇所を考慮した道案内】
一歩行空間デジタルツインを参照することで、初めての場所でも、歩きやすい場所の道案内ができます。共有されている3次元データから勾配を考慮しつつ、段差や障害物の少ないルートを選びます。

■歩行空間デジタルツインの応用
歩行空間デジタルツインには、日々日々の道路空間の3次元データも集まってきます。そのため、歩道や道路、その周辺にある標識や信号機等の維持管理にも活用できます。他にも、私達の街中のメタバースのものになる等、様々な応用が期待できます。

- ・作品名：「危険地点投票システム」
- ・応募者：金沢工業大学心理科学科 6班 もとやちさえ まつたなおき なるしまたばさ もとなが
(元谷内冴英、松田直生、成島東咲、本永 あきはせひなの こつぼみずき おぐらゆめみ
朗、長谷雛乃、小坪瑞基、小倉夢実)
- ・応募内容の紹介

背景：道の危険や不便を報告するシステムは存在するが、対処の優先度がわかりにくい。

目的：危険な道、不便な道の状況を把握し、対処の優先度を可視化する。

概要：インターネットを用いて、危険な道を危険度やその道を利用する頻度と共に報告してもらい、ランキング形式で可視化する。

先行事例では、どこを優先的に対処すべきか分かりづらい。

そこで、場所と危険度、その道を利用する頻度を併せて、インターネットで報告してもらい、

集計してその危険度、利用頻度の高い不便な道をランキング形式で可視化する。

優先的に対処すべき場所が分かり、自治体に対処しやすくなる。

危険な道	よく利用されている不便な道
1. □ ~	1. □ ~
2. □ ~	2. □ ~
3. □ ~	3. □ ~

【アイデア部門イノベーションの部 優秀賞：1点】

- ・作品名：「光活用型交通サイン計画」
- ・応募者： 佐賀大学理工学研究科理工学専攻
ながたみさき にしむら かな みやぐちみのり やまくち
 (永田美咲、西村奏波、宮口稔里、山口ケイマール大空、長野竜己、永山太一)
おおぞら ながのりゅうき ながやまたいち
- ・応募内容の紹介：

ながらスマホ、歩きスマホ、信号無視の防止策として、光を活用した交通サイン計画を提案する。

交差点における歩行者・自動車運転手に向けた交通サインや駅における案内板などに光を活用したサインを映し出すことで、歩行者の安全を促進する。また、災害時の危険個所への注意喚起なども促すことができる。



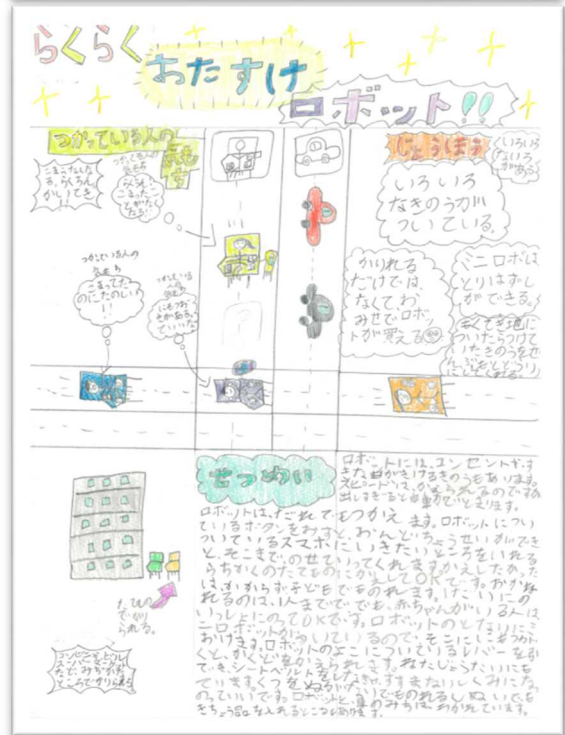
【特別賞：2点】

- ・作品名：「らくらくおたすけロボット!」
- ・応募者： しのざわ はな 篠澤 花奈
- ・応募内容の紹介：

【背景】重い荷物を持っていると、歩くスピードが遅くなり、イライラしてしまう・・・つかれて一旦止まって休めるようなサービスは考えられないかな？とこのアイデアを考えました。

【目的】もっと便利に、楽に、早く、移動することを可能とする。

【概要】スマホで行きたいところを入力すると、そこまで乗せて行ってくれる移動式ロボットです。お店で借りることができます。ボタンを押すと、温度調整もでき、好きな姿勢でくつろぐことができます。車ではないので、自動車の道とはわかれて移動し、スピードを出しすぎると自動で止まる安全機能もついています。



- ・作品名：「アニメの世界に入れちゃう!」
 アニメウォークメガネ

- ・応募者： やの かずま 矢野 和直
- ・応募内容の紹介：

【背景】楽しく歩きながらも安全に歩く方法はないかな？と考えました。

【目的】楽しく、かつ安全に歩ける様にする。

【概要】グラスをかけると、好きなアニメの世界に入ることができます。また、安全に歩くために、自転車がかたり危険があるとアラートサインが出ます。他にも、道案内機能や音声案内機能がついているため、迷わず目的に着くことができます。



別 添

ICTを活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会 委員名簿

(敬称略)

委員長	坂村 健	東洋大学情報連携学部INIAD学部長	
	竹中 ナミ	社会福祉法人 プロップ・ステーション 理事長	(福祉)
	田中 淳	東京大学大学院情報学環 特任教授	(防災)
	古屋 秀樹	東洋大学国際観光学部 教授	(交通・観光)
	森 亮二	弁護士、国立情報学研究所 客員教授	(オープンデータ)
行政	国土交通省 技監		
	政策統括官(税制、国土・土地、国会等移転)		
	大臣官房 技術調査課長		
	総合政策局 バリアフリー政策課長		
	総合政策局 技術政策課長		
	総合政策局 情報政策課長		
	総合政策局 モビリティサービス推進課長		
	不動産・建設経済局 情報活用推進課長		
	都市局 街路交通施設課長		
	都市局 公園緑地・景観課長		
	水管理・国土保全局 河川計画課長		
	道路局 企画課長		
	鉄道局 技術企画課長		
	自動車局 旅客課長		
	港湾局 技術企画課 技術監理室長		
	航空局 航空ネットワーク部 航空ネットワーク企画課長		
	観光庁 参事官(外客受入担当)		
	国土技術政策総合研究所 道路交通研究部長		
	国土地理院 企画部長		